



挨拶は魔法の力

校長 菊地 康一

「レース後の君の挨拶の態度はなんだ！ライバルや審判がいてこそレースができたというのに、あのいい加減な挨拶はなんだ！君はレースには勝ったけれども、人としては負けだ！」

これは中学生だった私が、ある大会のレースで勝つことはできたが、思ったような記録が出せず、少し不満げな態度で戻ったときに、スイミングスクールのコーチに言われた言葉です。大会に出るたびに優勝し、勝つこと・記録を出すことしか関心がなくなっていた私にとっては、目の覚める言葉でしたが、私はすぐにコーチの意を理解することができました。それは「水泳を学ぶとともに、水泳を通して生き方を学んでいるんだぞ！」と常日頃言われていたからです。特に「挨拶はすべての基本！」と。レース後のコーチの言葉は、その後の私の価値観や教育観にも影響を与えるものとなりました。数十年たった今でも、コーチの声とともにこの言葉が耳の奥に残っています。この言葉に育ててもらえたこと、そしてあのときに叱ってもらえたことに、心から感謝している私です。

西台中に着任して、全校朝礼、廊下、退勤するとき、さまざまな場面で挨拶してくれる子どもたちの多さを実感し、嬉しく思っています。大きな声を出すことが苦手な生徒の会釈をしてくれる姿に、微笑ましく思っています。学校だけでなく、家庭や地域でも働きかけている結果ではないでしょうか。また、週番の生徒、先生が毎朝校門の前に立ち、挨拶運動をしています。挨拶を通して自分たちの学校をより良くしていこうという気持ちで、全校の生徒たちにも伝わってきて、だんだんと自分から挨拶をする雰囲気醸成されています。しかし、「朝、無言で教室に入ってくる」「給食の時間、いただきますをきちんと言わずに食べ始める」「誰かに何かをしてもらっても感謝を述べることができない」など、挨拶（コミュニケーション）について学ぶべきシーンも見受けられます。生活指導部を中心に、組織的な取り組みも展開しながら、その都度、生徒たちには「なぜ挨拶が必要なのか」を考えてもらいたいと思っています。

挨拶の”挨”という字は『開く』、”拶”は『迫る』という意味があります。『相手の存在を認め、相手に対して心を開く』挨拶には、人を元気にする、勇気づける『魔法の力』があります。挨拶を大切にすることは「人を大切にすること」であることから、挨拶は、いじめをなくす風土作りの第一歩になると考えます。家庭・学校・地域が連携し、大人たちが率先して挨拶を大切にしていくなかで、子どもたちの健全育成を図っていかねばと考えています。

中学生は、行動範囲も広がり、いろいろな人に会う機会も増えることでしょう。初めて会う人にも、久しぶりに会う人にも自分からさわやかな挨拶をして、自分の成長ぶりを伝えてほしいと願っています。

最後になりますが、保護者・地域の皆様のお力添えをいただきながら今年度も教育活動を進めてまいります。生徒たちが、様々なところで活躍できるよう、ご支援を宜しくお願いいたします。

入学式での新入生誓いの言葉から一部抜粋 ※入学して一ヶ月。皆さん誓いの言葉を覚えていますか。

～不安を感じています。けれども、それに負けないくらい、これからどんなことを経験できるのか、どんな友達と出会えるのかと期待に胸を膨らませています。僕は3つの目標を立てました。一つ目は、勉強を頑張ること ～ 二つ目は部活動 ～ 三つ目は、何事にも全力で向き合い、取組、後悔しないような3年間を過ごすことです。そして楽しい思い出をたくさん作りたいです。～ 僕たちは西台中学校の生徒としての自覚をもち、思いやりと感謝の気持ちを忘れず、困難にぶつかっても諦めず、全員で立ち向かっていくことを誓います。

新入生代表

令和5年度が始まって一ヶ月が過ぎました。7年生のみなさんの気持ちを、代表生徒がこのような言葉で話してくれています。自分自身のために、生活を見直したり、頑張りを継続したりしていきましょう。8年生、9年生もそれぞれ新学年に向け目標を立てたのではないのでしょうか。GWが終わり、少し疲れがとれた今、もう一度自分に問いかけて頑張りましょう。応援しています。

生徒の活躍

国語授業で作成した本校生徒2名の作品が、5月2日と9日の読売新聞に掲載されました。(当時7年生)

自転車の気持ち考える

自転車のかごをこわしてしまい、自転車屋のおじさんに見てもらった。おじさんは「自転車は文句も言わないから便利なものだけど、人と同じで痛がっているんだよ」などと言いながら、無料でかごを直してくれた。

人は痛いと言病院へ行くが、自転車は自分では動けない。実際私はかごをこわしてから何か月もそのままにしていたので、自転車はすごく痛かったと思う。おじさんの言葉を聞き、私はなんてことをしたのかと胸が痛んだ。

自転車の事故や盗難が後を絶たないが、自転車だって悲しいだろう。ものは便利なので「いたい」「いやだ」とは言わないが、だからといってひどい扱いをするのはよくない。彼らの気持ちも考えて、命と同じように扱いたい。

「ありがとう」幸せのループ

小5の時、公園で財布を見つけて交番に届けたら、警察官から「ありがとう」と言われ、いいことをしたなと思いました。数日後「持ち主が見つかった」と連絡があって交番に行くと、女の人から「ありがとう」と何度も言われました。「またいいことをしたい」と思いました。

人のためにいいことをしていると自分も他人も同じように大切に感じられる、と思います。そこで「ありがとう」と言われれば、周囲はうれしくなって幸せのループが始まります。「ありがとう」の言葉が大切です。

どちらの生徒も、他人から言われた言葉をしっかりと受け止めた結果が気持ちとなり、文章にまとめることができたのだと思います。本校の子どもたちの素直な気持ちに改めて触れることができ、とても暖かな気持ちになりました。学校便りでは、運動面、文化面での生徒の頑張りもお伝えしていきます。※個人情報については、本人に確認の上、記載しております。また、本校Webサイト上では、個人情報部分は削除しております。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。